

鈴鹿山麓混成博物館フォーラム1

# 神様が好きですか？ 仏様が好きですか？

—神仏習合文化を再考する—

なにげなくある、神様と仏様が何の違和感もなく融け合っている姿。  
冷静に考えれば、世界にあまり例のない信仰の姿では？  
その意味と、力、そして未来への可能性について考えます。

2019年2月24日(日)

- ◆会場: ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター ピアザホール  
(滋賀県大津市におの浜 1-1-20)
- ◆時間: 13:00~16:30 (開場12:00)
- ◆参加: 自由(定員400名)※満員になりましたら入場をお断りする場合があります。
- ◆参加費: **無料**
- ◆お問合せ: 鈴鹿山麓混成博物館事務局  
(多賀町立博物館内 TEL 0749-48-2077)

◆主催: 鈴鹿山麓混成博物館

鈴鹿山麓混成博物館とは、鈴鹿山脈の山麓にある東近江市・愛荘町・多賀町の博物館が中心となり、この地域の歴史文化遺産を積極的に活用することを目的に結成された団体です。



このフォーラムは「平成30年度文化芸術費補助金  
「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」の採択を受けて実施します。

近江には、いや日本には大変多くの神様・仏様がおまつりされています。でも、私たちは神様と仏様を区別しているのでしょうか？神社とお寺はなんとなく区別していますが、その中に神様と仏様が同居していることが良くあります。そして、私たちは何の違和感もなく、神様と仏様を同等に拝んでいます。いや、クリスマスやハロウィンの神々まで暮らしの中に取り入れています。この、日本の神仏が持つ抜群の「親和力」は一体どこから来るのでしょうか？「親和する力」とは、これから未来に向けて必要とされる、大きな意味を持つ力です。

今回のフォーラムは、所謂「神仏習合」の文化を通して、現在、そして未来における人と神様・仏様のおつきあいの仕方を考えます。

## フォーラムスケジュール

13:00 挨拶

基調講演 「融け合う神と仏そして人」

大沼芳幸 NPO法人歴史資源開発機構キュレーター

何気ない所にある神と仏の融合の形を通して、日本人にとって神様・仏様はどの様に意識されているか、について語ります。神仏に親和力があるのか？人に親和力があるのか？

講演1 「多賀参詣曼荼羅に現われた神と仏」

本田 洋 多賀町立博物館 係長

多賀大社の教線拡大に寄与したアイテムに「多賀参詣曼荼羅」があります。参詣曼荼羅を絵解きすることにより、神と仏が融合する世界を紹介します。

講演2 「習合美術としての神像」

山下 立 滋賀県立安土城考古博物館 主任

ある時、姿なき日本の神が「神像」という姿を持った。その影には「仏」の力が…。神と仏が混じり合う過程と発展を、神像彫刻を通して紹介します。

講演3 「天台の中の神と仏」

渡邊勇祐 (公財)滋賀県文化財保護協会(琵琶湖文化館)

「天台王国」と言われる近江。最澄は比叡山という山に籠り、山にいます神の力を受けて新たな仏教の姿を示しました。天台美術の中に表現された神と仏の姿を紹介します。

15:20 討論

「神様と仏様の微妙な関係」

司会・進行 大沼芳幸

講演者全員の討論により、神と仏が融け合うことによって生まれた文化の意味と魅力について語り合います。神様とは？仏様とは？いったい何者なのだ？正論・暴論・奇論続出の討論をご期待ください。

16:30 終了予定

## ◆会場地図



※有料駐車場有り



神と仏が宿る山



不動明王は仏なのに鳥居が



鯛口と鈴を下げ、しめ縄を飾る。何の違和感もない



石仏の中に神を感じる

## ◆お問い合わせ

鈴鹿山麓混成博物館事務局  
(多賀町立博物館内 TEL0749-48-2077)